



当 NPO グループ会員にご登録いただいているNPO足利水士里探偵団(栃木県)の平田理事が、尚毛新聞に原稿を投稿し2月12日、13日と二日間に渡って掲載されました。13日の記事はEM活用と普及状況について書かれていますので、紹介いたします。

## 私のノートから

さて、新たな出会いの足利水士里探偵団は、水士里の名前の通りの活動をしています。EM(有用微生物群)を活用して「水」の浄化、「土」づくり、「里」はまちおこしにつなげる協働と賑わいつくり活動を意味しています。EMの普及で渡良瀬川をきれいにしようというスローガンで足利商工会議所の支援を受け、まちおこし探偵団の8番目として平成7年2月に「EM普及探偵団」が誕生し、平成14年4月にNPO法人になるのを契機に現在の「足利水士里探偵団」になっていることを学びました。そして、清掃が大好き

な私はEMを使ってトイレ掃除を続けていたところ、足利商工会議所のトイレ清掃でEMの効力を実験することになりました。2011年1月から主に男子トイレ清掃を現在も続けています。お蔭

宴会などで集中的にトイレを利用するところでも臭気や汚れに悩まれます。半年後の2012年1月、今度は厨房の排水槽の清掃の機会を頂けました。排水槽は油脂や雑排汚泥で配管がつまり

用してもらった雑排物は低分子化して流れも滞留せず、よって臭気対策も解決しています。今年1月で丸2年を経過しました。いまだに一度もバキューム清掃はしていません。

ここで、私が厨房現場の舊様のEMに対する理解と扱ひ方、そして清掃に対する熱意と優しさを感じて感動する場面たくさん出会うことができました。昨年3月から館林市の老舗割烹仕出し店舗「丸め屋」でも取り組みして同様の成果が続いています。

善玉菌の集まりであるEMは、排水槽を通って排水路から大きな川へと流れて行きます。

一般的に、清掃は見えないところ、見えにくいところが優先です。見えにくいところ、見えにくいところは後回しです。台所の油や料理残渣は排水口に流してしまえば見えな

## 平田 英司

くなるから…おしまい！でも、流した汚水は悪玉菌の好物、分解過程で悪臭を放ち生物の棲めない川へとつながります。排水管に集まる多くの世帯の汚水は多額の下水処理費用につながるでしょう。

皆さま、近年は少なめ油調理、お皿や鍋は布や紙でふき取ってから洗うなど努力も進んでいきます。しかし、社会のクリーン推進、環境改善は益々必要です。一昨年世界5S(整理・清掃・整頓・清潔・美)セミナーが開催されています。足利市で開催されています。足利市と商工会議所を通じて「足利5S学校」も誕生し、全国からの視

察も多いようです。この5S活動の中で、清掃分野にEMを活用した取り組みがあります。

今回紹介したトイレや厨房まわりの浄化実績が何年続くか楽しみです。5S活動の中に、特に厨房周りの浄化事例を組み

入れてくださることで、この事例の成果をこれからも、楽しみながらしっかりと続けて参りたいと思います。(おわり)

(NPO法人足利水士里探偵団理事)

◆ 本欄等、本紙各欄への投稿を歓迎いたします。ご質問の場合は、本紙編集部(TEL・1366)までお気軽に。

# 大活躍するEM

## トイレや厨房の浄化実績(下)

様臭気もなきれいになっていると評価を頂いております。そうした中、2011年6月、個人津菜様から商工会議所の清掃成果を見て自社のトイレ清掃作業の依頼を受けました。

流れが滞って、時にはバクテリアや悪臭のなることにもつながる。そのため、毎年2~3回のバキューム清掃が必要になっているという。そこで、毎日実施する厨房のフロア清掃にEMを活用

昨年2月に、1年間の成果を足利商工会議所新聞で大きくその成果を広報していただき、その成果は、2年後の現在も続いていることに私も益々自信を深めているところ

です。